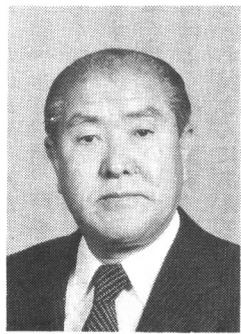


育英会だより

発行所
 財団法人 漁船海難遺児育英会
 〒101 東京都千代田区内神田
 2丁目2番1号
 鎌倉河岸ビル6階
 電話 03(3256)1981
 FAX 03(3256)1982
 水色の羽根募金運動



財団法人 漁船海難遺児育英会
 理事長 鈴木善孝

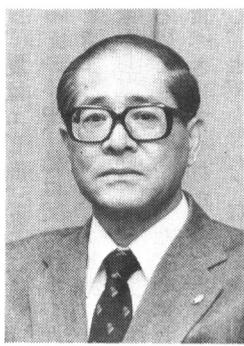
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 また、皆様から旧年中に賜りました漁船海難遺児育英事業に対する温かいご支援に、衷心よりお礼申し上げます。
 平成二年度から四か年計画で開始しました第六期募金運動は、本年度をもって終了いたしますが、目標額を達成できる見込みとなりました。これも偏に水産関係者をはじめ、多くの方々の心温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。お陰様を持ちまして、子供さんたちは安心して勉学に励むことができ、お母さん方から感謝のお便りが数多く寄せられております。

入をお願い申し上げます。
 また、奨学生の皆さんには、ご協力いただいている方々のご期待に応え、勉学に励み、本育英事業の目的として、おります社会に役立つ人材に健やかに成長されることを切に願うものであります。

一方、最近の教育費は、家計費の伸びを上回って増高し、奨学金の水準と大きく離れてまいりました。また、中学校卒業生はほとんどが進学し、高等学校等は半ば義務教育化しており、かつ、その教育費の負担は大きく遺族の家計を圧迫してきている状況にあります。

このため、お母さん方をはじめ関係者の強い要請に応じて平成六年度から、奨学金の増額、及び高校生に対する給与制度を開始することとして準備を進めているところであります。

このためには、育英基金の造成をさらに進める必要があります。経済情勢及び漁業を取り巻く情勢が誠に厳しい折りはありますが、是非とも「水色の羽根募金運動」の趣旨についてご理解を賜り、引き続き、予定しております第七期募金運動へのご協力、及び定期的な奨学資金のご支援をいただく「励ましおじさん・おばさん会員」へのご加



漁船海難遺児を励ます全国協議会
 会長 池尻文二

明けましておめでとうございませう。
 昨年は、経済不況も一層深刻化し、先行き不透明な中、長雨による冷夏や北海道南西沖地震等の天災にみまわれ、一方政権の交代もあるという多端な一年でありました。
 このような中で、漁業関係者をはじめ皆様には、新たな気持ちで新しい年をお迎えのことと存じます。
 さて、昨年の漁船海難遺児を励ます運動は、平成二年度より四か年計画で始まった第六期募金運動の最終年度になり、目標にむけて募金推進のほか、チャリティーイベント等の実施について、多くの方々のご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

今年も、漁協系統をはじめ皆様方の力強い「励まし運動」を基盤として、育英事業制度の充実をめざして努力を傾注して参る所存です。
 海難事故は、僅かながら減少の現況にはありますが、痛ましい事故の発生は後をたちません。「海難事故0」の実現のため、漁業関係者のご努力とご協力を改めて心よりお願い申し上げます。
 奨学生の皆さん、ご家族におかれましては、この一年が充実した良い年となりますよう、健康に留意され明るく前向きに過ごされますことを祈念申し上げます。
 (全国漁業協同組合連合会会長理事)

**第三回理事会・評議員会
 理事・監事全員再選**

十二月十六日、理事会及び評議員会が開催され、評議員会で十二月二十日任期(二年)満了する全理事・監事の選任を行ったあと、引き続き開催された理事会において、次期役員互選を行い、その結果、鈴木善孝理事長、池尻文二副理事長、稲垣友三郎専務理事及び五人の常任理事とも全員再選されました。
 なお、理事のうち、今井忠漁船船主

**平成五年度企画委員会
 今後の育英事業について意見交換**

去る十二月十五日、道県漁連、中央漁業団体等の会長、専務理事等の方々
 また、平成六年度から実施予定の学資給与・奨学金貸与等の増額、高校生に対する給与制度の導入に伴う育英会規程改正案についても承認されました。



理事 前田 優

あけましておめでとうございませう。
 平成五年は、イワシの不漁にはじまり、米の不作でおりましたが、今年農山漁村に明るい日がさすことを祈っています。
 さて、私は漁船海難遺児育英会専務として九年間お世話になりましたが、この間、漁協系統をはじめ募金に御協力下さった方々には、感謝申し上げます。と共に、奨学生の諸君が父親を失った不幸にもめげず頑張っている姿をみて何よりも嬉しく思いました。平成二年十月北部太平洋まき網漁連の藤村会長が急逝したことによる後任として移ることになりました。まき網は、イワシ・アジ・サバ・カツオ・マグロを漁獲の対象としていますが、まき網の漁業者は国民に蛋白質を供給する使命感に

「実り多い人生に」
 漁船海難遺族生活実態調査員 川上 昌子
 私は、昭和五十七年から海難遺族生活実態調査の一員として調査に参加してきました。調査は昭和五十五年からはじめられましたが、私が参加するよう

**第三回選考委員会開催
 新規奨学生三十二名を採用**

十月十五日締切りの第三回奨学生出
 もえており、かつ、その漁獲物を利用する冷凍業者・加工業者・缶詰業者およびそれに関連する市場・輸送業者・卸・小売の流通関係者など、その及ぼす範囲は非常に大きなものがあります。ところが、二、三年前より日本近海における資源の減少が著しく、カツオ・マグロの釣・延縄や底魚を対象とする沖合底曳網なども、まき網と同様、漁業経営に困難をきたしています。金融問題、乗組員の不足問題、資材の節減の問題など解決しなければならぬことが多々ございますが、水産庁、大日本水産会、全漁連などと共に、すこしでも早く漁業の行く手に明るい光が見出せるよう努力しています。
 漁船海難遺児育英会では、平成六年から高校生の貸与制度を給付制度に改善するなど意欲的に仕事をしておられることは、誠によろこばしいことです。奨学生の皆さんもからだを練り、勉学にいそしんで下さい。
 (北部太平洋まき網漁連会長)

なっています。
 十年余の長い年月の間に多くの女性の方々に会うことが出来ました。若い方々からは、お年寄りの方、さまざまです。中年の方や、お年寄りの方には遺族として過ごされてきた長い年月

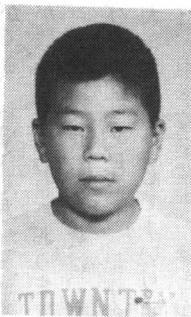
願者について、十一月四日開催された平成五年度第三回奨学生選考委員会において審議の結果、学資給与奨学生二十七名、奨学金貸与高校奨学生五名の出願者三十二名全員の採用が決定しました。
 この新規奨学生を加えた現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」とおりです。
 なお、来年度進学予定の奨学金貸与奨学生の予約採用者は十名で、現在までに十九名(高校十一名、大学等八名)となりました。

はじめて、若いお母さん達について、一番最近の二年間の調査は被災されてから五年以内のお宅を訪ねました。それは小さいお子さんを抱えている遺族の方が色々な意味で最も大変であろうと考え、その状況を捉えたいと思っております。事故に遭われて間もない方に御主人にかかわる話をさせていただく事は申し訳ないことでした。御主人の事ではなくお子さんについてだけお尋ねしたとしても、御主人への思いを新たなものにしてしまいます。御主人をなくされて、生活の面もたいへんですが、精神的な打撃がいかに大きいかかわったことでした。

お顔は概してちがっていません。その方々からは、おろおろと途方にくれた様子は消え、子ども達と場合によって養父母を引き受けて、責任を一身に負って生きている世帯主としての顔でした。
 そして、私がおもひかれ魅力を感じたのは、子ども達を育て上げ六〇歳以上になられた方達の中にみられた顔です。遺族年金や弔慰金も非常に少なかった時代に遺族となり、大変に苦労された方々です。その方々からは、

これから老後に向かう不安よりも、一つの事を成し遂げた安堵感の方が強く伝わってきました。子どもや孫と同居している方ばかりではありません。一人で、なお働きながら、子どもや孫が訪ねてきてくれることを楽しみに、じつにサバサバした心境で毎日を送っておられる様子が伝わってきました。苦労の数だけ天からの恵みも大きいと感じたことでした。

今、子育ての最中にある方、どうか健康にお気を付けられますように、実に多い人生になりますように祈ります。そして私たちのぶしつけな調査にご協力下さいました方々に心から感謝申し上げます。
(淑徳大学教授)



小学校四年生
木村正史

「ぼくの思い出と希望」

ぼくの家は銚子犬吠埼です。犬吠埼台のすぐそばです。

お父さんは、イワシをとる船にのっていました。ぼくが二才のとき八戸の海へイワシをとりにいったのですが、とつぜん、船内でぐあいが変わるなり、死んでしまったそうです。ぼくは小さかったのでなにもわかりませんでした。あとでおじいちゃんやおばあちゃんやお姉ちゃん、おにいさんに話をききました。

お父さんが死んでから、おじいちゃんとおばあちゃんが、まいにち、ぼくの家へきて、朝、戸をあけて学校がおそくなるから早くおきするようにいいます。夕方まで、あすも学校だから早くねなよといひます。ぼくの家から海はよくみえます。ぼくは海を見ているとお父さんにあるような気がします。

ぼくは、三人姉兄です。お母さんは病気で、ぼくは、いっしょうけんめい勉強してお母さんを大切にしようと思ひます。

(銚子市立高神小学校)

「一家の柱はお母さん」



中学校一年生
安達千春

昨年、私の父は船の事故で亡くなりました。父はがっちりした体格で、何ひとつ病気がない病気のしたことのないう人でした。漁のことに限らずは人一倍頑張りつづけた父が、突然、いなくなつてしまいました。私の心の中は、とっても大きな大きな穴があいたようでした。

私の家は春はカレイ漁、アサリ採り、夏はエビ漁、冬はコマイ漁を営み、一年中、私は父の仕事を手伝って来ました。特に、エビ漁になると、家から三角帆のエビ船がたくさん見えるので、いつも獲りたてのエビを沢山食べさせてくれた父のことを思い出して、とても悲しくなります。

母は夜になると、とつてもとつても疲れた顔をしています。私は母を見るととてもかわいそうでなりません。一家の大黒柱を失うということは大変なことだとわかりました。

現在、弟は六年生、妹は三年生なので、まだまだこれからも母に苦労をかけると思います。弟は大きくなつたら父のあとを継いで、立派な漁師になるといっています。

私は、少しでも母を助けて弟、妹達と仲良くがんばっていかうと心に決めております。

(北海道別海町立野付中学校)

「偉大な父」



高校二年生
佐藤由貴

父が亡くなってから、長男である僕に課せられる責任は大きくなりました。

雪かきは父がやっていたのです。父が亡くなったので僕がすることになりました。それまでは父がやっていたのを見ていただけだったので、別にたいしたことはないだろうと思つていたら、実際にやってみるとなかなかうまくいかず、力も必要な重労働でした。

他のことといえば、弟たちのしつけです。父ならば一回注意すればすんでいたことでも、僕や母が何度注意しても弟たちは聞いてはくれません。僕はいつも、「どうして言うことを聞かないだろう」と思っていました。父が、「そこの父のすこさだったかもしれない。」

父は生きていた時は、昼間はパチンコをしに出かけ、夜は漁に出るといっように、あまり家にはいませんでした。だから僕と母は「前とあまり変わらないね」と話をしていました。父が、やはり父の存在は大きかったのです。

今でも、父は生きていたような気がする時があります。けれど、父はもういないんだなと思うと、少しさびしい気がします。(北海道立羽幌高校)

「父と私」



高校二年生
藤村梨枝

私は今、父の母校に通っています。父も何十年前も前にこの校門をくぐっていたんだなと思うととてもうれしくなります。父とすこしたはたったの四年です。だから、思い出は少ししかありません。同じ高校へ通ったからといって思い出がふえるわけではないのですが、私はなんとなく父の高校時代といっしょに毎日をおくっているような気がするんです。父を教えた先生に私も習っているのですが、父もこのように考えて勉強していたんだなとよけいにうれしくなるのです。

その先生に、「つりざおを海におとすに困っていた時、君のお父さんの昌ちゃんかな、泳いでとってくれたんだ。」

「父の死と私」



高校二年生
古川ともえ

その日は何の前触れもなしにやってきました。漁師である父の船が明け方の午前三時頃、大型船と衝突して海に沈みました。その時、同乗していた祖父はなんとか助かりましたが、舵を取ろうとして立ち上がった父は海へ投げ出されたそうです。母は、私が目覚めた時には港へ出かけていて、母の実家の祖母が家に駆けつけてくれていました。兄弟四人と祖母とで食べた朝食は、いつもと全く違う雰囲気の中で食べた。このとき、私はまだ半信半疑の状態で、その後すぐに、NHKのニュースで「父、行方不明」とアナウンスされた次の瞬間に、私は「わっ」と、泣きくずれていました。本当に突然のことでわけもわかりませんでした。父が、父が晩秋の冷たい海の中にいることだけは確かだと思ひ知らされたからです。

「最近思う事」



大学二年生
山下昇一

朝の頭が混乱した状態から立ち直つて、その日はとりあえず学校へ行くことになりました。いつもと同じ様に振る舞うつもりでしたが、父の事故のことを知っている友達からは「ショックが大きいよ。」と、休み時間にずつづつ聞いてくれました。他の子は「すぐに見つかるよ。」と励ましてくれました。また、職員室で、先生方に事故のことを聞かされた時には、再び事故があったんだという実感がわいてきて泣きだすようになりました。しかし、心の中で「父は生きてるんだ。」と言いきかせて、やっとなのおもいでその時の涙をこらえました。夕方、親戚の人々が集まって来ていて落ち着くことができない、夜はあふれでた涙をこらえきれないで泣きながら寝ました。

父はそれから四日目にやっと、多く

の漁協の方々のおかげで遺体があがり家に戻ってきました。お棺のふたを開けると、少し顔の膨れた父の姿がありました。父の閉じた目から血がにじんできました。誰かが「家に帰ってきてうれいから泣いているんだね。」と言いました。私は「ああ、そうなのか。」と共感したのと同時に、父はもうこの世の人ではないことを悟りました。それからはお通夜にお葬式とで、お線香の匂いのたちこめた中での忙しい日々が続きました。何もかもが一段落した時には、私の家の中に妙な静けさだけが残りしました。

そんな静けさを打ち破るかのようには、母は「必ずお父さんが私達を守ってくれるからね。」と言って、励ましてくれました。そんな母一人に苦労をかせげないで私も頑張りたいたいと思います。(福井県立敦賀高校)

将来は、今大学で学んでいる経済学をもっと勉強して、自分の才能を発揮できる職業に就きたいと思つています。とにかく、これから先の事はあまりわかりませんが、一步一步あせらずにつきますように思います。

多くの方々には、たいへんあたたかい御支援、御助力をいただき、大変感謝しております。皆様のこれからの益々の御健闘をお祈りいたします。(追手門学院大学・徳島県出身)

「今の私」



卒業奨学生
末武悦子

只今、私、二十六歳の平凡な主婦をしております。主人とは、少々年がはなれておりますが一応うまくやっています。子供は未だいませんが、猫を子供のように、二人で、かわいがっています。母に早く孫の顔を見せて、安心させてやりたいなと思う今日このごろです。父が亡くなって早二十一年、生まれたばかりだった弟は、まだ産院の大学

生だけ、勉強とバイトに頑張っています。今の世の中、聞きなれない言葉です。今、私と妹は、中学を出てすぐ、集団就職で岐阜に行き、仕事と勉強を両立させて高校を卒業しました。本

当は地元の高校に行きたかったのですが、私立に入るにはお金がかかるし、公立に入ればいいのですが、勉強がきらいな子だったので、それでこの道に決めました。中学を出たばかりの子が親元をはなれて、ホームシックにかかったり、仕事でイヤなことがあったり色々ありましたが、高校から卒業しないうちに片親だからとバカにされるし、母や妹まで笑いのものにされると思い、頑張りました。

集団生活、つらいことも沢山ありましたが、その分楽しいことも沢山ありました。いろんな地方の友達ができ、今でも時々遊んだり、電話したりしています。初めはどうして私だけお父さんがいれば...なんて思ったりもしていましたが、こっちに出てきたおかげで、今の主人とも知り合えたし、私にとっては良かったと思っています。

「ふれあい」
大学等奨学生母親 米谷光子
北の街、稚内にも、本格的な雪が舞い散る季節となりました。思い出せば、三才だった長男も十才になり、小さい頃は、体が弱く学校行事には、ついて行けない始末では、今はそのようです。

高校を出て、札幌社会体育専門学校に入学してからは、すっかり元気になり、学校行事として、沖繩の研修旅行、山登り、日高での合宿、水泳等、クラブはバスケットに夢中です。これからはスキーも予定されており、又、新たな友と出会い、先生方の暖かい御

の生活はとてひどいものです。教育を受ける受けない以前に、いかにして一日一日を生きていくかが重要な事です。幼くして街頭で生きていく人々の姿を見た時、病気になるまで医者にかかると、自分が出ない人々に出会った時、自分の人生がいかに恵まれていたかをつくづく感じました。地球の反対側で、自分達の不平不満がいかに次元が低いものであるかを思い知らされました。

また、五体満足ということがどんなにありがたいことか、メキシコでの生活で身にしみてわかりました。あなたの手や足は、何億積まれても手離せるものではありません。自分は無限の価値を背負って生きているのだという自信を持って下さい。「プラス思考」で人生を考えて下されれば幸いです。

とりとめの文になってしまいましたが、今の自分を大切に自信と誇りを持って生きて下さい。

(愛知県名古屋)

「プラス思考」で人生を



町田明徳 励ましおじさん会員

「あなたには一〇〇億円の価値がある。」といきなり言われたら、あなたはどのような反応を示しますか。大体の人は冗談ぐらいにしか思わないのではないのでしょうか。

私が言いたいのは、私達は自分達を過少評価、あるいは価値に気づかないで生きていることが多いということです。例えば、あなたは自分のことを思う時、お金がないとか、頭が良くないとか、外見が気に入らないとか、幸せでないとか、「マイナス思考」になることはありませんか。かく言う私も

諸々劣等感に囲まれて生きていました。ところが、ある機会をキッカケに自分の考えの甘さを痛感させられ、いかに自分が恵まれているかを実感しまし

た。この体験が皆さんの人生にどれほどの役に立つかわかりませんが、何らかの参考にしていただければ幸いです。

私はかつてメキシコに八年間住んでいました。メキシコは中南米の中でも裕福な国と呼ばれていますが、国内での貧富の差は激しく、約一五%の白人を除くと、後三〇%ぐらいは中流です。残り八五%は貧しい暮らしをしています。私は、その貧しい層に近い人々の中で暮らしたことがあります。それは実に厳しいものでした。

例えば、日常生活に欠くことが出来ない水ですが、まず絶対量が少ない上、水質が悪く、日本人が飲めばすぐ下痢を起こすようなものです。また、断水が日常茶飯事で、いつ止まるかわからない水を大切に使用しなければいけません。それに空気。メキシコのモググは世界最悪と言われ、多くの子ども達が気管を痛めたり、呼吸系の病

気にかかっています。この厳しい自然条件に加え、高い失業率と治安の悪さという社会条件も加わり、貧しい人々

指導のもとに、数多くのふれあいが出来たことを感謝致しております。又、学校の合間をみては、「英会話」、「コンピュータ」、「ワープロ」等にも通っています。

何事も根気よくやり直し、社会に生かせるように願っております。奨学生のみなさん、家族のみなさん、「明るく」、「おおらかに」、「美しく」、

この言葉を心にきざみ理解していただき、人生を送って下さい。

今年も暮れようとしています。みなさんの健康を祈りながら、共に歩んで行きたいと思えます。ありがとうございます。

(北海道稚内市)

水産食品展示試食会

「おさかなフェア93」開催

去る十月一日、東京・浜松町の都立産業貿易センターで、海洋水産資源開発センター主催・(株)大日本水産会協賛の「おさかなフェア93」が、魚食普及を目的に生産・流通・加工の水産団体が参加し、開催されました。

会場内では、開発魚種の料理やアジ・イカ・サンマ等の刺身の試食や、マグロの解体コーナーには、大行列ができていました。

会場の入り口では、本会女子職員による募金活動を、また、全国水産物商業協同組合連合会・東京魚業協同組合青年部連合会の方々が募金を呼び掛けながら、サンマの無料配布(株)全国さんま漁業協会提供)を行い、サンマを受け取った多くの方々から、温かいご寄付をいただきました。

「漁船海難遺児を励ますチャリティイベント」開催

毎秋恒例の代々木公園における「漁船海難遺児を励ますチャリティイベント」が、本年も十月二十三、二十四日、盛大に開催されました。

各都道府県協議会や関連団体・会社からご協力をいただいた海産物等を、市価の三〜四割引きで大奉仕。両日とも好天に恵まれ、会場は四〇万人の人出で賑わう中、トラック一杯の海産物はあつという間に完売でした。

「毎年この海苔を楽しみにしているよ」、「もっと買おうと思っ」て戻ってきたのにもう売り切れ?」などという声もちらほら。

会場では販売のほか、育英事業のパネル展示や、「水色の羽根募金」を呼び掛け育英事業の

普及活動に努めるほか、ちびっこの向けのヨーヨー釣りやタイムサービスの豪華景品が当たるくじびきも人気を呼んでいました。チャリティにご協力いただいた団体・会社は次のとおりです。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

釧路市役所・釧路市水産加工センター、青森はたて流通振興会、日本水産缶詰工業協同組合、日本鯔鮪漁業協同組合連合会、東洋水産(株)、青森県佐井村漁協、岩手県宮古漁協、静岡県焼津漁協、全国漁連のり事業推進協議会、山口県漁連販売(株)、全漁連

漁船海難遺児を励ます地方協議会(県漁連等) 北海道・青森県・岩手県・宮城県・茨城県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・新潟県・石川県・福井県・愛知県・三重県・京都府・兵庫県・島根県・山口県・徳島県・福岡県・佐賀県・有明海・大分県・長崎県・鹿児島県・沖縄県



愛媛県伊予市で「第十三回豊かな海づくり大会」開催

第十三回全国豊かな海づくり大会が、「夢・生命(いのち)きらきら輝く海づくり」を大会テーマに、十一月七日、愛媛県伊予市の森漁港で、天皇・皇后両陛下をお迎えし、県内外の漁業関係者及び一般市民ら約二万二千人が参加して開催されました。

当日はあいにくの雨となっていました。長年の挨拶で始まり、「第九次漁港整備長期計画樹立」などの四議案を採択し、成功裡に閉会しました。

会場内外では、全国漁業協同組合学校の学生さんや中央水産団体、都漁連の皆さん四〇名が、本大会のスローガンともなっている漁船海難遺児募金を呼び掛け、多くの方々にご協力をいただきました。

第一回「漁船海難遺児チャリティゴルフ大会」開かれる

十月十九日、沖繩県漁連主催で、県内初めての「漁船海難遺児チャリティゴルフ大会」が開催されました。これには、県下各地の漁業関係者は約二四〇名が参加し、四人六〇組に分か

れ、終日プレーを楽しみました。プレー終了後の表彰式では照喜名大会会長(沖縄県漁連会長)よりお礼の挨拶があり、そのあと、本会稲垣専務に寄付金が贈呈されました。

漁港祭(みなとまつり) 93海難遺児チャリティ鳥羽一郎コンサート

大阪府下で盛大に開催される

大阪府泉州連合漁協(泉大津・忠岡・春木・岸和田市・鯉子着網の五漁協で構成)では、毎年、有名歌手を招致して「漁船海難遺児を励ますチャリティコンサート」を開催しています。本年度は、鳥羽一郎さんを招き平成五年十一月十日、泉大津市民会館で開かれました。

コンサートは、海の男、鳥羽さんの迫力ある海の歌の熱唱で大いに盛り上がり、満員の聴衆も大満足の様子でした。

また、会場では、漁協青年部・職員皆さんの呼び掛けで水色の羽根募金が行われるとともに、幕間にはコンサートの収益金が漁協代表と鳥羽さんから本育英会に贈呈されました。

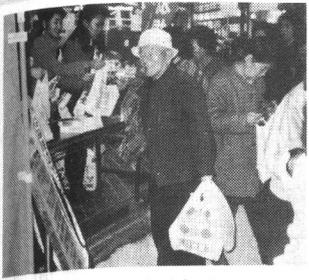
恒例、歳末チャリティ開催

ヒカリ食品(株) (川崎)

「ヒカリ食品(株) (石渡光雄会長) 主催の「やさしい心ありがとう・アジの開きチャリティ販売」が、十二月四日、JR川崎駅前の岡田屋モアーズ店前で開かれました。

岡田屋モアーズさんのご協力を得て「一口百円以上のご協力を」という呼び掛けのもと、主催者が用意したまあじの開き一、五〇〇袋(一袋三枚入り)が提供され、今年も盛況裡に終了しました。

ご協力ありがとうございました。



石渡会長には、「励ましおじさん会員」として、長年多大のご協力をいただいておりますが、このほど趣味の一つで

ある俳句、川柳を寄せていただきましたので、一部ご紹介いたします。

「海難に寄せて」
二役の母に感謝の雛祭り
水平線紅葉の様な手を合わせ
行く春や帰らぬ夫と夢で会い
木枯らしや幼な児背負ひ母強し
海難に寸志をそへて年の暮

励ましおじさん、おばさん

『会員申し込み・奨学資金の御寄付』のお礼

平成五年九月下期から平成五年十二月上旬までの間に会員のお申し込みをいただいた会員のご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

- ※御芳名(敬称略)
- (九月) 〇澁川弘(八王子)
- (十月) 〇田中哲彦(飯能市) 〇秋本圭一(倉敷市)
- (十一月) 〇丹羽昭彦・継続(千葉市) 〇野村泰造(同) 〇廣重和夫・継続(武蔵村山市) 〇藤本美穂・継続(横浜市)
- (十二月) 〇江藤はつ子・継続(和光市)

育英基金

『募金・御寄付』のお礼

平成五年九月から十一月末までに御寄付をいただいた方々の御芳名を掲げ、そのご芳志に厚くお礼申し上げます。

- ※御芳名(敬称略)
- 一、漁協系統募金(各都道府県の漁連、信漁連、指導連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会(略称・地方協)」等で取り扱った分、一般寄付金を含みます。)
- (九月) 〇三重県 〇のり大会三重実行委員会 〇兵庫県 〇浅野浦漁協婦人部 〇尾上照美 〇地方協 〇島根県 〇青山幸子 〇受賞記念 〇岡山県 〇おさかなフェスタ 〇おかやま募金 〇山口県 〇清泉水産 〇地方協 〇長崎県 〇宮原勝美 〇(株)アド長崎 〇中山良夫 〇地方協 〇熊本県 〇地方協 〇大分県 〇(有)寿し好 〇家具の玉屋 〇松田勝義 〇染矢作夫
- (十月) 〇北海道 〇厚岸町湾月町自治市

- 会ダンス愛好会 〇山田正儀 〇見舞返し
- 〇北海道定置青年研究会 〇今正義 〇見舞返し 〇白老ちっぷ 〇港まつり 〇秋さけ販
- 〇八戸地区船員保険協会 〇船員保険の集い募金 〇千葉県 〇笠原太郎 〇静岡
- 〇山形県 〇一香典返し 〇和歌山 〇荒堀和範 〇島根県 〇野津明 〇香典返し 〇山口県 〇木田貞子 〇地方協 〇香
- 〇石原均 〇香典返し 〇愛媛県 〇古谷和夫 〇愛媛県 〇真珠養殖漁協 〇福岡県
- 〇山崎マツエ 〇香典返し 〇佐賀県 〇有明海 〇古海苔網無料配布会募金 〇長崎県
- 〇谷口昌彦 〇橋口伝一 〇本川誠 〇中山良夫 〇田中宏吉 〇地方協 〇熊本県 〇地方協
- (十一月) 〇北海道 〇羅臼漁協 〇同青年部定置部会 〇漁火まつり協賛チャリティ 〇募金 〇牧聡 〇香典返し 〇反田進
- 〇香典返し 〇高橋大次郎 〇見舞返し 〇八雲町大漁あきあじまつりチャリティ 〇八雲町漁協 〇住吉美代子 〇香典返し 〇北島哲夫 〇見舞返し 〇宮川和子 〇香典返し 〇宮城県 〇宮城県蒲鉾組合連合会 〇山形県 〇鶴岡地区底びき船主船頭会 〇茨城県 〇茨城の豊かな海づくりに日立大会実行委員会 〇千葉県 〇酒井一男 〇受賞記念 〇富山県 〇園亀由 〇大黒信吉 〇静岡県 〇地方協 〇京都府 〇本庄浦漁協青年部 〇産業祭募金 〇大阪府 〇漁港祭(みなとまつり) 〇93海難遺児チャリティ 〇鳥羽一郎コンサート 〇泉州連合漁協(泉大津・忠岡・春木・岸和田市・巾着網) 〇堺市沿岸・堺市・堺市浜寺・堺市出島・高石市漁協 〇兵庫県 〇木下清 〇香典返し 〇酒部龍三 〇島根県 〇石東地区漁婦連 〇豊かな海づくりに大会募金 〇広島県 〇脇田次郎 〇森本慎示 〇村上透 〇香典返し 〇地方協 〇山口県 〇地方協 〇香川県 〇川口博 〇香典返し 〇川井弘安 〇香典返し 〇長崎県 〇高山和明 〇荒木嘉太郎 〇石原政一 〇田中美代治 〇浦崎伝蔵 〇浜辺健吾 〇中山良夫 〇青潮まつり出店業者組合 〇荒木シメ 〇地方協 〇鹿児島県 〇東郷庄三郎 〇串木野まぐろフェスティバル実行委員会 〇地方協

- (九月) 〇青森県 〇大山チセ(八戸市) 〇茨城県 〇高澤日出夫・清子(つくば市) 〇千葉県 〇壁矢患津子(千葉市) 〇飯村久子(野田市) 〇高橋圭介(船橋市) 〇東京都 〇上田都美(荒川区) 〇竹内常世(大田区) 〇栗林綾子(香典返し)(品川区) 〇匿名(同) 〇美(荒川区) 〇指幸子(板橋区) 〇木村か称(渋谷区) 〇大島みぎわ(杉並区) 〇中山筆子(世田谷区) 〇小林誠(台東区) 〇(株)ハウスイ募金箱(中央区) 〇(株)ハウスイ募金箱(中央区) 〇(株)ハウスイ募金箱(同) 〇(株)日本農村情報システム協会募金箱(千代田区) 〇北九州海寿会・北九州地区海友婦人会・全日海九州関門地方支部 〇全日海経由(港区) 〇水島海員会館 〇全日海経由(同) 〇神奈川県 〇川崎魚市場(株) 〇森井武雄(川崎区) 〇川崎丸魚(同) 〇愛知県 〇匿名(豊田) 〇福岡県 〇富元克昌(福岡市)
- (十月) 〇青森県 〇大山チセ(八戸市) 〇宮城県 〇(株)高橋・高橋佐吉(気仙沼市) 〇塩釜市魚市場サービスキエ(横濱市) 〇静岡県 〇岡千代・岡充夫・佐伯禎明(浜名郡雄踏町) 〇島根県 〇木原文雄(益田市) 〇福岡県 〇富元克昌(福岡市) 〇(十一月) 〇青森県 〇大山チセ(八戸市) 〇鮫力ラオケ愛好会 〇全日海八戸支部経由(同) 〇埼玉県 〇坂浦洋平(越ヶ谷市) 〇千葉県 〇飯村久子(野田市) 〇北丘祭陽会(同) 〇(松戸市) 〇田市) 〇北丘祭陽会(同) 〇(松戸市) 〇牧野弁三(同) 〇東京都 〇上田都美(荒川区) 〇梅津静子(大田区) 〇松本和義(同) 〇匿名(品川区) 〇木村か称(渋谷区) 〇濱田義徳(同) 〇梶浦富(杉並区) 〇中山筆子(世田谷区) 〇小林誠(台東区) 〇ホテルマリナーズコート東京募金箱(中央区) 〇春田孝一郎(文京区) 〇丸尾ひさ(同) 〇称念寺(港区) 〇神奈川県 〇川崎魚市場(株) 〇川崎市 〇大阪府 〇長尾悦(枚方市) 〇鳥取県 〇共和造機(株) 〇和安弘(境港市) 〇福岡県 〇富元克昌(福岡市) 〇福岡魚食普及推進協議会 〇青柳親男(同) 〇長崎県 〇浜崎水産(株) 〇浜崎一男(長崎市)

都道府県別奨学生数

(平成5年12月末現在)

県名	奨学金貸与奨学生								平成5年度第2回新規採用者					合計
	学資給与奨学生				奨学金貸与奨学生				合計					
	幼児	小学生	中学生	小計	高校生	大学生等	小計	合計	幼児	小学生	中学生	高校生	大学生等	
北海道	5	49	42	96	24	8	32	128		3	4	2		9
青森	1	28	31	60	15	4	19	79		1	1	1		3
岩手		22	24	46	16	4	20	66		1				1
宮城	3	25	25	53	8	7	15	69						
秋田	1	1	2	4	1	2	3	7						
山形		2	3	5	3	3	3	8						
福島	4	9	18	31	6	2	8	38						
茨城														
栃木						2	2	2						
千葉	1	8	5	14	3	1	4	18						
東京														
神奈川		6	3	9	2	1	3	12						
新潟		1	5	6	1	1	2	8				1		1
富山			2	2				3						
石川		9	7	16	2	1	3	19						
福井		8	2	10	3	3	3	13						
静岡			2	2	1	1	1	3						
愛知	1	5	2	8	1	1	1	9		2				2
三重		7	4	11	4	1	5	16						
京都		2	1	3	3	3	3	6			1			1
大阪		5	1	6	1	1	1	7						
兵庫	1	16	7	24	2	2	4	28		3				3
和歌山	2	6	4	12	2	2	2	14						
鳥取	1	3	9	13				13						
島根	1	6	6	13	6	4	10	23						
岡山		4	2	6		1	1	7						
広島	1	4	5	10	1	1	1	13						
山口	3	10	18	31	16	4	20	51		3	4	1		8
香川	1	1	2	4	1	5	6	8						
徳島	3	4	7	14	3	3	6	20						
愛媛	2	5	7	14	5	2	7	21						
高知	2	10	7	19	6	3	9	28						
福岡		7	9	16	5	1	6	22						
福岡県有明海					2	1	3	3						
佐賀県有明海		2		2				2						
佐賀県有明海		2	3	5	2	1	3	8						
長崎	3	20	21	44	10	5	15	59						
大分	1	15	13	29	6	6	6	35						
熊本			1	1				1						
宮崎	2	13	15	30	6	1	7	37						
鹿児島	2	10	13	25	4	3	7	32		1	1			2
沖縄	2	5	8	15	4	1	5	20		1	1			2
合計	36	323	329	688	175	72	247	935	1	15	11	5		32

注:奨学金貸与奨学生には、入学一時金のみの奨学生を含む。